

びわこの決戦で、ヤングパワーの凄さを見せつける!



児島
GⅢ第7回ウエスタンヤング優勝戦
(2020年6月18日・第12レース)

順位	選手名	支部	進入	ST	タイム
①	① 大山 千広 (福岡)	①	11	1.48.0	
②	② 石丸 海渡 (香川)	②	13	1.49.6	
③	③ 仲谷 颯仁 (福岡)	③	14	1.49.8	
④	④ 村松 修二 (広島)	⑤	15		
⑤	⑤ 佐々木 完太 (山口)	④	16		
⑥	⑥ 新開 航 (福岡)	⑥	10		

▶2連単 ①-② 270円 (1番人気)
▶3連単 ①-②-③ 680円 (1番人気)
▶決まり手=逃げ

GⅢウエスタンヤング覇者
4885 **大山 千広** (福岡)

**優勝目指して、
ドリーム戦から頑張ります**

「エンジンのおかげで成績を残している部分が大きく、最近の調子はあまり良いとは思っていません。エンジンの力を引き出せていなくて、ロスしていることが多いです。まだ私の力が足りていませんね。SGや記念を走らせてもらう機会が増えて、これまでよりも余計にトップレベルとの差を感じています。エンジン出しだけでなく、レース内容もまだまだです。」

ウエスタンヤングはドリームに1号艇で乗せていただいたので、「最低でも優出」と自分にプレッシャーを掛けていきました。あの時も全てのレース内容が良かった訳ではありませんが、プレッシャーを乗り越えて優勝できたことは良かったと思います。

びわこは嫌いじゃないですよ。乗りにくさを感じることはあるけど、乗りやすいレース場のほうが成績が悪かったりしますから…(笑)。うねりがひどいときは別ですけど、ヤングダービーの時期はそれほど水面が荒れることはないでしょうし、前回も優出できていますからね。

最近では4コースが苦手です…。捲ってしまえば別ですけど、1マークの隊形が難しい。だからこそ、ドリームの4号艇を克服することができればリズムにも乗れると思います。優勝したいと思っているので、初日のドリームから頑張ります」

Profile

おおやま ちひろ 1996年2月5日生まれ。福岡支部・116期。2015年5月、福岡でデビュー。17年9月、福岡・Aレディースで初優勝。18年9月、浜名湖・ヤングダービーでGⅠ初出場、初優出。19年8月、蒲部・レディースCでGⅠ初優勝を飾る。19年5月、福岡・オールスターでSGデビューを果たす。



GⅢイースタンヤング覇者
4659 **木下 翔太** (大阪)

**最後のヤングダービー。
タイトルを獲りたい**

「[SGタイトルにもっと近い男]と期待してもらえるのはありがたいこと。注目されるのは好きですから(笑)。ただ昨年はSGで3回優出してチャンスは多かったけど、今年の調子はあまり良くないんですよ。」

このヤングダービーはもちろん思い入れの強いタイトル。第4回、第5回大会と連続で優出したし、昨年の三国でもチャンスは十分あった。自分にとっては相性の良い大会だと思っています。

びわこも相性の良い、好きな水面です。GⅠやGⅡで優出しているし、イースタンヤングでは優勝。調整の波長が勝手に合うというか、いつも上手くゾーンに入ってくれる。直前にびわこを走るアドバンテージもあるから、調整に関しては何も心配はしていません。

タイトルに手が届かない原因としては、あと一歩の勝負強さであったり、エンジン出しの最後の詰めが甘さが出ていると、自分では思っています。やっぱり優勝戦は仕上がりのレベルが高いメンバーでの勝負になる。今回はきっちり仕上げて優勝戦に乗りたいですね。

ヤングダービーは今回が最後。秋以降のリズムを上げるためにもタイトルを獲りたい。もちろん優勝を目指しているし、しっかり結果を出して締めくくることができたら最高でしょう」

Profile

きのした しょうた 1991年4月3日生まれ。大阪支部・108期。2011年5月、住之江でデビュー。15年5月、唐津・ルーキーSで初優勝。16年4月、津・周年記念でGⅠ初優出。SGは17年12月、住之江・GPシリーズで初出場。19年6月、多摩川・グラチャンでSG初優出を果たした。



桐生
GⅢ第7回イースタンヤング優勝戦
(2020年6月19日・第12レース)

順位	選手名	支部	進入	ST	タイム
①	① 木下 翔太 (大阪)	①	02	1.49.5	
②	② 丸野 一樹 (滋賀)	④	23	1.50.4	
③	③ 吉田 裕平 (愛知)	②	02	1.52.5	
④	④ 関 浩哉 (群馬)	⑤	06		
⑤	⑤ 磯部 誠 (愛知)	⑥	04		
F	F 永井 彪也 (東京)	③	+01		

▶2連単 ①-② 1,350円 (5番人気)
▶3連単 ①-②-③ 3,120円 (13番人気)
▶決まり手=逃げ

YOUNG DERBY 総展望 秋のびわこ水面を乗りこなすのは!?

倉橋 智宏 ●「サンケイスポーツ」

7代目“ヤング王”を目指し、精鋭52名が激突!!

木下、上條の大阪コンビが優勝へ突き進む



本来ならV候補の筆頭に挙がる地元・丸野一樹がF休みのため不在。混戦ムードが漂うV戦線を引っ張っていくのは同じ“グラッツェ軍団”の**木下翔太**(大阪)か。これまで特別タイトルこそ手にしていないものの、SGでは3回、GⅠでも11回の優出を数える。GⅠ、GⅡを含めて4連続優出中と好相性のびわこ水面を舞台に、念願のGⅠタイトル初戴冠へ突き進んでいく。

木下とともに最強・大阪支部の将来を背負う**上條暢嵩**(大阪)もグラッツェ軍団の一員。こちらは昨年4月の下関ダイヤモンドCでひと足先にGⅠ制覇。2個目の“勳章”を手に入れる場面は十分にあるはずだ。

羽野、仲谷、磯部のドリーム組もV有力

17年10月の大村65周年を制して“平成生まれ初のGⅠ覇者”となった羽

野直也(福岡)、さらに翌18年2月の若松・九州地区選でVを飾った**仲谷颯仁**(福岡)の福岡コンビもそれぞれ2回目のGⅠ制覇を狙う立場だ。



一方で、初日ドリーム戦を1号艇で出陣する**磯部誠**(愛知)はGⅠタイトル未制覇。近況は大舞台での活躍も増加しているだけに、そろそろタイトル奪取の期待が高まる。

大山が勝てば史上初の女子ウイナーに



女子ではやはり**大山千広**(福岡)に注目が集まる。昨年は8月の蒲部レディースCでGⅠ初制覇を遂げると、史上最年少での賞金女王に輝いた。ヤングダービーは一昨年の浜名湖大会で優出(6着)。当タイトル史上初と

なる女子ウイナーの誕生の瞬間が訪れる可能性は当然ありそうだ。

若手A1ランカーたちもタイトル獲得へ



もちろん、その浜名湖大会でGⅠ初出場&初Vの快挙を成し遂げた**関浩哉**(群馬)も忘れてはいけない存在。**大上卓人**(広島)、**高倉和士**(福岡)、**中村晃朋**(香川)、**石丸海渡**(香川)、**春園功太**(三重)、**中田達也**(福岡)、**野中一平**(愛知)、**豊田健士郎**(三重)、**小池修平**(大阪)、**中村泰平**(愛知)、**吉川貴仁**(三重)らもA1ランカーの手腕を発揮してV争いに加わってくる。

回	開催年	開催場	優勝者
第1回	2014年	戸田	桐生 順平
第2回	2015年	尼崎	松田 祐季
第3回	2016年	常滑	松田大志郎
第4回	2017年	蒲部	中田 竜太
第5回	2018年	浜名湖	関 浩哉
第6回	2019年	三国	永井 彪也

第7回大会 **びわこ**
(優勝戦) 2020年9月22日※・第12レース

2020年獲得賞金ベスト50 (2020年1月1日～8月10日)									
順位	登録番号	選手名	支部	獲得賞金額	順位	登録番号	選手名	支部	獲得賞金額
1	4320	峰 竜太	佐賀	108,745,000円	26	3942	寺田 祥	山口	37,387,000円
2	3854	吉川 元浩	兵庫	79,827,932円	27	4148	枝尾 賢	福岡	36,126,566円
3	4477	藤崎 仁志	福岡	77,370,333円	28	4350	藤崎 元志	福岡	34,170,000円
4	3744	徳増 秀樹	静岡	68,419,000円	29	4074	柳沢 一	愛知	33,801,000円
5	3783	瓜生 正義	福岡	64,465,500円	30	3582	吉川 昭男	滋賀	33,579,000円
6	3897	白井 英治	山口	58,863,000円	31	4504	前田 将太	福岡	33,294,000円
7	4418	茅原 悠紀	岡山	58,140,000円	32	3826	村田 修次	東京	32,823,000円
8	3960	菊地 孝平	静岡	55,832,000円	33	3737	上平 真二	広島	32,570,000円
9	4238	壽島 誠	群馬	55,293,000円	34	3780	魚谷 智之	兵庫	32,562,500円
10	3415	松井 繁	大阪	53,595,000円	35	4387	平山 智加	香川	32,477,666円
11	4337	平本 真之	愛知	48,993,000円	36	4205	山口 剛	広島	32,019,333円
12	4444	桐生 順平	埼玉	45,974,000円	37	4084	杉山 正樹	愛知	31,347,566円
13	4344	新田 雄史	三重	45,554,340円	38	4497	藤原 悠	長崎	31,284,000円
14	4168	石野 貴之	大阪	44,653,000円	39	4688	永井 彪也	東京	30,661,000円
15	4024	井口 佳典	三重	44,513,000円	40	4290	福田 浩二	兵庫	30,634,265円
16	4686	丸野 一樹	滋賀	43,741,333円	41	4831	羽野 直也	福岡	30,224,000円
17	4371	西山 貴浩	福岡	43,259,000円	42	4061	萩原 秀人	福岡	29,942,000円
18	4503	上野真之介	佐賀	43,047,000円	43	4512	高野 哲史	兵庫	29,919,932円
19	3941	池田 浩二	愛知	42,911,000円	44	4364	池永 太	福岡	29,648,000円
20	3573	前本 泰和	広島	42,907,000円	45	4816	村松 修二	三重	29,553,000円
21	4262	馬場 貴也	滋賀	41,845,500円	46	3984	坂口 周	広島	29,402,000円
22	4044	湯川 浩司	大阪	40,602,000円	47	4188	久田 敏之	群馬	29,368,000円
23	3721	守田 俊介	滋賀	40,243,000円	48	4586	磯部 誠	愛知	28,854,000円
24	4296	岡崎 恭裕	福岡	39,808,000円	49	3959	坪井 康晴	静岡	28,639,000円
25	4524	深谷 知博	静岡	39,358,333円	50	3657	太田 和美	大阪	28,419,000円